

公益財団法人 日本社会福祉弘済会 助成

廃棄物銀行の利用者などを対象とした 所得創出プログラムと社会サービスの提供

Income generating and social services for Solid Waste Bank Customer Family and Farmer

実施団体名：Yayasan Hikari no Chiiki Fukushi..
(ひかりのちいきふくし財団)

担当修了生：ヤヤット / Mr. Yayat Hidayat (インドネシア / 22 期)



実施団体概要

廃棄物銀行の利用者や農家の収入を増やすこと、また子どもたちと高齢者に社会サービスを提供することを目的に、地域資源の評価・活用、プロダクト・マーケティング、有機肥料づくり、子どもたちへの人格教育と健康サービスの提供、高齢者への社会サービスの提供などを行う。

活動地概要

スメダン県は西ジャワ州の州都バンドンの北東に位置し、人口は約113万人(2015年)。北部の一部の低地を除いて、そのほとんどが山岳地帯である。シチムンの人口は約5000人(2010年)。



事業計画概要

西ジャワ州スメダン県に住む廃棄物銀行の参加者や農家、児童、高齢者、失業中の主婦を対象とし、所得創出に資するさまざまな講座やワークショップ等を実施するとともに、子どもや高齢者向け社会サービスの充実をはかる。

廃棄物銀行の事業は、2015年から継続して行われている。利用者が廃棄物を収集、分別し、廃棄物銀行に売却する。売却によって得られる収益は、廃棄物銀行に貯蓄することができ、必要に応じて引き出すこともできる。

活動の目的・ねらい

- ・ 廃棄物銀行の利用者の家庭の収入を増加させる。
- ・ 所有組織と利益を共有することのできるヤギや羊を提供することで、畜産農家の収入を増加させる。
- ・ 仕事をもたない主婦に対して、衣服の裁縫によるビジネスの機会を提供する。
- ・ 子どもたちや高齢者へ社会サービスを提供する。

実施内容と成果

1. 関係者との調整
2. 地域の資源調査（ミシンやその指導者、子ヤギ・子羊、畜産指導者、肥料の製造機、有機肥料の指導者）
3. 参加者の交流
4. 仕事をもたない主婦を対象とした衣服の裁縫についての研修
5. ヤギ・羊飼育についての研修
6. ヤギ・羊の糞を活用した有機肥料づくりについての研修
7. 有機肥料づくり、ヤギ・羊の飼育
8. 有機肥料のマーケティングの調整
9. 子どもたちへの人格教育と健康サービスの提供
10. 高齢者への社会サービスの提供（宗教的活動、運動、その他支援）
11. 関係者会議
12. 監督と評価についての会議

これらの活動を通じて、以下のような成果が得られた。

- ・ 廃棄物銀行の利用者の収入が増加した。
- ・ 畜産農家の収入は、所有組織からのヤギや羊を育て、利益を分け合うことで改善し、将来的にはその利益から自身のヤギや羊を所有することができると考えられる。所有組織は10名の農家の計10頭のヤギや羊を所有している。
- ・ 廃棄物銀行の利用者の家族である子どもたちと高齢者は、子どもたちへの人格教育、高齢者への宗教的活動や運動、健康診断などの社会サービスを受けることができた。

①



地方自治体との調整会議の様子

②



紙ごみのリサイクルについての研修

③



職員が廃棄物銀行の紙を仕分ける様子

④



ヤギや羊を飼育し、所有組織と農家で利益を分配するプログラムの様子

⑤



ヤギや羊の糞から有機肥料を作るプログラムの様子

⑥



子どもたちの人格教育

⑦



子どもたちと教師への本の贈呈

⑧



高齢者の健康増進を行う様子

今後の展望

仕事をもたない主婦を対象とした、衣服の裁縫を通じた収入支援プログラムは予算不足のため、まだ実施していない。しかし、このプログラムは家庭の収入を増加させるために非常に有効であり、2020年に実施する予定である。

実施スケジュール

日程	内容
2019年2月から4月	関係者との調整
2019年3月から4月	地域の資源調査（ミシンやその指導者、子ヤギ・子羊、畜産指導者、肥料の製造機、有機肥料の指導者）
2019年5月	参加者の交流
2020年に延期	仕事をもたない主婦を対象とした衣服の裁縫についての研修
2019年7月	ヤギ・羊飼育についての研修
2019年7月	ヤギ・羊の糞を活用した有機肥料づくりについての研修
2019年6月から2020年3月	有機肥料づくり、ヤギ・羊の飼育
2019年8月から2020年3月	有機肥料のマーケティングの調整
2019年4月から12月	子どもたちへの人格教育と健康サービスの提供
2019年4月から12月	高齢者への社会サービスの提供（宗教的活動、運動、その他支援）
2019年3月、12月	関係者会議
2019年3月、8月、12月	監督と評価についての会議

収支報告

(1) 収入

項目	金額(円)	内容
全社協からの助成金	382,661	
自主財源	249,731	
廃棄物の販売による利益	45,135	
有機肥料の販売による利益	23,571	
水産物、農作物の販売による利益	25,075	
ヤギや羊の共同販売による利益	5,015	
寄附金	100,300	自治体からの寄附金
合計	831,488	

(2) 支出

項目	金額(円)	内容
関係者との打ち合わせ	8,024	1,003円×2名×4回
参加者の交流	10,030	茶菓子代、資材費100.3円×25名×4回
ヤギや羊飼育のための地域資源のアセスメント	6,018	スタッフ交通費 2名分
ヤギや羊飼育についての研修	20,060 50,150 200,600	講師謝礼 1名×2回 飼育設備(ケージ等) 1セット ヤギ・羊 計10頭
ヤギや羊の糞を活用した有機肥料づくりについての研修	20,060 150,450 15,045	講師謝礼 1名×2回 肥料づくりの設備 1セット パッケージ 100セット
マーケティングの促進	5,015	スタッフ交通費 2名×3回
子どもたちへの人格教育と健康サービスの提供	65,195	501.5円×65名×2回
高齢者への社会サービスの提供	40,120	501.5円×40名×2回
関係者会議	12,538	250.76円×25名×2回
監督と評価についての会議	7,523	250.766円×10名×3回
スタッフ給与	200,600	12,537.5円×2名×8か月
文房具	20,060	2,507.5円×8か月
合計	831,488	

注) 通貨単位:円〔インドネシアルピア (IDR) で提出された報告をもとに円に換算したもの〕
換算レート:1インドネシアルピア≒0.01003円〔送金日(2019年6月5日)のレート〕

インドネシア共和国 基本情報



面積 ^{*1}	約191万km ² (2018年) 日本の約5倍
人口 ^{*1}	2億6,767万人 (2018年)
人口密度 ^{*1}	138人/km ² (2018年)
主要民族 ^{*2}	大半がマレー系 (ジャワ、スンダ等約300種族)
主要言語 ^{*2}	インドネシア語
主要宗教 ^{*2}	イスラム教87.21%、キリスト教9.87% (プロテスタント6.96%、カトリック2.91%) 等
政治体制 ^{*2}	大統領制、共和制
1人あたり国民総所得 ^{*1}	3,725米ドル (2017年)
通貨 ^{*1} (1米ドル=110.423円換算)	1米ドル=14,236.94ルピア (2018年平均) 100円=12,893.09ルピア
平均寿命 ^{*1}	男67歳、女71歳 (2016年)
65歳以上人口割合 ^{*3}	5.857% (2018年)
合計特殊出生率 ^{*4}	2.336 (2017年)

※1 統計局 世界の統計2020 <http://www.stat.go.jp/data/sekai/0116.html>

※2 外務省HP <https://www.mofa.go.jp/mofaj/area/indonesia/index.html>

※3 World Bank Population ages 65 and above (% of total population) - Indonesia
<https://data.worldbank.org/indicator/SP.POP.65UP.TO.ZS?locations=ID>

※4 World Bank Fertility rate, total (births per woman) - Indonesia
<https://data.worldbank.org/indicator/SP.DYN.TFRT.IN?locations=ID>